

クラス番号	902	担当教員名	富田 克己
テーマ	絵本からみる子どもの世界と保育・子育て支援		

ゼミナール概要

【目的、内容、方法等】

絵本とは何でしょうか？子どもだけでなく大人をも魅了するのはなぜでしょうか？書店では絵本コーナーが設けられ、絵本専門店というものも全国各地にあります。最近では、児童養護施設や介護施設での絵本のよみきかせの実践が本になったりもしています。

また、絵本は子どもにとっていちばん身近な文化財であるといっても過言ではないでしょう。保育園や幼稚園はもちろん、保健所や子育て支援の場、図書館でも絵本のコーナーが大きなスペースで設けられ、小学校や学童保育所でもよまれ、震災後の支援で子どもたちに絵本をおくるというものもありました。保育士資格の保育園での実習でも、必ず絵本をよむ機会が与えられます。

ブックスタート事業といって、保健所などを利用して、地域に生まれたすべてのあかちゃんに絵本を贈り、保護者には絵本のよみ方を伝えると共に絵本のブックリストを提供するという取り組みも全国に広がっています。子育て雑誌では、絵本の特集が組まれていることが少なくありません。早期教育の役に立つのでしょうか？

それにしても何故、子どもにとって絵本がこんなにも必要とされるのでしょうか？様々な施設や取り組みの中で、絵本は何故よまれ続けているのでしょうか？また、どのようによまれているのでしょうか？絵本をよむということは子どもにとってどういう意味があるのでしょうか？子育てにどうかかわっているのでしょうか？

- ・絵本をよむことから始め、絵本を知ること
 - ・絵本実践から集団保育を知ること
 - ・絵本をきっかけとして子育て支援の現場を知ること
- このような内容を追究していきたいと思っています。

【授業計画】

前期：「絵本を知る」

…資料や論文の収集、レポートとして纏める力

絵本ブックリスト作り

絵本の歴史

絵本の文化財としての特徴

絵本の種類

前期レポート：絵本とは何か？自分なりの絵本観（予定）

*研修5月 あいち保育と子育て集い（愛知保育団体連絡協議会主催）に参加（名古屋市にて開催）

夏期：（保育所見学）

後期：「絵本からみた保育実践・子育て支援」

…実践の分析、調べ見て体験して考えをまとめる力

保育園の絵本実践を学ぶ

子育て支援の場での絵本の使用方法を学ぶ

施設見学（図書館、ブックファースト事業、児童館、学童保育所、保育園、子育て支援センター）

絵本の読み聞かせ体験

絵本専門店ツアー

最終レポート：子どもにとっての絵本と保育・子育て支援（予定）

*要望があれば、絵本以外の子どもの文化研究（うた、紙芝居、集団遊び、わらべうた、けん玉、こま、竹馬、栽培とクッキングなど）も、サブテーマとして追及していきましょう。初回の授業で計画を立てるのでワクワクするようなものを考えてきてください。

担当教員からのメッセージ

保育課程の学生はもちろんですが、子どもに関心はないけど絵本に興味がある、絵本にあんまり興味がないけれど子どものことに関心がある、そんな学生たちが集い共に学び合いましょう。将来に悩む学生も絵本から何か得るものがあるかもしれませんよ。ゼミの仲間づくりも楽しんでみましょう。